

「ものがたり文化政策入門講座」

～宮沢賢治を手がかりに考える文化政策の目的と実践～

岩手県内のある自治体の文化課に昨年から在籍している主人公は、文化行政は初めてでどうにも仕事になじめません。その文化課に今年、宮沢賢治の大ファンだという不思議な雰囲気的女性が配属されました。彼女が語ることを聞いていると、文化政策が目指すところが少しずつわかってきました。庁内外の様々な人と関わりながら、この主人公はついに大きな事業に着手しますが果たして・・・。

架空のストーリーをもとに、主人公と一緒に、自治体文化政策について考えていきます。

(参加者同士による、意見交換も実施する予定です。)

日時

令和7年1月24日(金)

14時から16時30分頃(予定)まで

会場

エスポワールいわて 大ホール

(岩手県盛岡市中央通1丁目1-38)

定員

40名程度

(定員になり次第締め切り)

参加料

無料

(会場までの交通費等は自己負担)

講師

横浜市にぎわいスポーツ文化局
文化振興課長(主任調査員)

おにき かず ひろ

鬼木 和浩 氏



【プロフィール】

1988年横浜市に入庁し港北区の文化振興を担当。その後、福祉、税務などの部署を経験した後、2004年4月から文化芸術都市創造事業本部文化政策課に配属。「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」設立、指定管理者選定、文化施設整備等を担当。2009年4月から横浜市役所初の文化芸術の専門職員に就任。2021年4月から現職。日本文化政策学会理事。共著に「文化政策の現在第1巻 文化政策の思想」(東京大学出版会)。

文化行政の初任者向けに刊行した共著「自治体文化行政レッスン55」(美学出版、2022年刊)は、類書がなく、わかりやすいと好評。

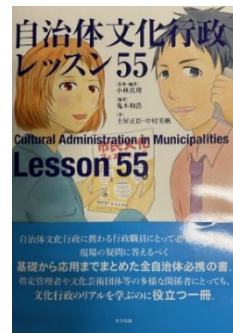
申込

参加申込書により令和7年1月17日(金)までにメール、FAX又は郵送にてお申込ください。

【岩手県「アートマネジメント研修」について】

県内各地域において、文化芸術の振興・文化芸術を活かした地域づくりなどに取り組む人材の育成・相互交流の促進を目的に開催する研修です。文化芸術活動に関わる団体、行政、文化施設、学生の方々をはじめ、関心のある方はどなたでも参加いただけます。

今年度は2回開催する予定ですが、内容が関連していますので、両方参加することをおすすめします。



主催・企画／岩手県文化スポーツ部文化振興課

お問合せ先：019-629-6485

「新しい広場、世界への窓としての公立劇場」 ～人と地域を活性化する文化拠点～

公立劇場と一口に言っても、環境も規模も予算も人員もさまざま。そもそも劇場って何のため、誰のためにあるの？いい事業って何？先進事例の話聞いても、素晴らしいと思いつつも、どう取り入れていいかわからない。人もいない予算もない中でどうやったらいいの？文化振興、市民参加、ワークショップ、アウトリーチ、何やらいろいろありすぎてどこから手をつけていいのやら。あれやこれやとオモシロくも悩み多き劇場運営。

文化政策の考え方や、いくつかの事例を見ながら、グループワークで楽しく一緒に考えます。

日時

令和7年2月5日（水）
14時から16時30分頃（予定）まで

会場

岩手県公会堂 2階 26号室
（岩手県盛岡市内丸11番2号）

定員

40名程度
（定員になり次第締め切り）

参加料

無料
（会場までの交通費等は自己負担）

講師

宮城県大河原町・仙南芸術文化センター
（えずこホール）元館長
みとまさひこ
水戸 雅彦 氏



【プロフィール】

1996～2020年まで仙南芸術文化センター（えずこホール）勤務（2016～19年館長）。住民参加型事業、アウトリーチ事業、社会包摂型事業に取り組む。20年間に、ホールほか地域内外の学校、福祉施設等250か所以上で1,000回のアウトリーチと700回のワークショップを開催、約8万人が参加した。

2020～21年長野県まつもと市民芸術館芸術監督補佐。

22年4月～長野県中野市市民会館リニューアルコーディネーター。

24年1月～山形県荘銀タクト鶴岡コーディネーター。



（えずこホール）

申込

参加申込書により令和7年1月17日（金）
までにメール、FAX又は郵送にてお申込ください。

【岩手県「アートマネジメント研修」について】

県内各地域において、文化芸術の振興・文化芸術を活かした地域づくりなどに取り組む人材の育成・相互交流の促進を目的に開催する研修です。文化芸術活動に関わる団体、行政、文化施設、学生の方々をはじめ、関心のある方はどなたでも参加いただけます。

今年度は2回開催する予定ですが、内容が関連していますので、両方参加することをおすすめします。